

新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館 指定管理者

平成21年度事業実績報告書

財団法人新潟市芸術文化振興財団

1 文化事業実績

平成 21 年度から、市民芸術文化会館の及び音楽文化会館の指定管理者として新たな5年間の指定期間のスタートにともない、音楽・演劇・舞踊の各分野で鑑賞事業を中心にさまざまな意欲的な事業を行い、更なる愛好者の拡大と文化事業の発展を図りました。

また、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を引き続き行うとともに市民芸術文化会館と音楽文化会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術等を発信しながら芸術文化の振興を図りました。

【市民の文化活動への支援事業】

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図ったほか文化団体との共催（支援）により全国規模の事業を行いました。

①第 57 回新潟市芸能まつり

平成 21 年 10 月～11 月にかけて音楽文化会館も含めて実施（共催）した。

②新潟歌舞伎みなと座

年間を通して活動を支援した。

発表公演として平成 22 年 1 月 23 日・24 日に「番町皿屋敷」を実施（共催）した。

③「劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合」

平成 22 年 1 月 10 日に実施（共催）した。

④「兼続」

平成 21 年 12 月 15 日に新作能「兼続」新潟公演実行委員会に参加し、実施（共催）した。

【地域に根ざした文化の創造事業】

専門ホールの特性を活用した新潟発の舞台芸術を創造し、全国に向けて発信しました。

りゅーとびあ能楽堂シェイクスピアシリーズでは「テンペスト」を新潟で 4 回、東京で 4 回公演しました。シェイクスピア研究者などから大きな好評が得られ、今後の企画展開が期待できるものとなりました。

3 月からは平成 22 年度に実施する「ハムレット」ヨーロッパ・ツアー公演に向けての準備・稽古を行ないました。

また、平成 20 年度新潟日報文化賞、同年第 8 回朝日舞台芸術賞舞踊賞などを受賞、平成 25 年まで活動が延長された金森稜（舞踊部門芸術監督）とレジデンシャル・ダンス・カンパニー-Noism は、6 月に新国立劇場との共同制作により「ZONE～陽炎 稲妻 水の月」を新潟・東京で公演しました。

また、好評な見世物小屋企画の第 2 弾「Nameless Poison～黒衣の僧」をチーフ国際演劇祭と共同制作し 11 月に新潟・東京、他 3 都市で上演しました。

また海外公演は 10 月に台湾公演を実施しました。9 月には次世代のダンサーを育成するため Noism 付属の研修生カンパニー-Noism2 を設立し、これに伴い正式メン

バーで構成される Noism1 と、研修生が所属する Noism2 の新体制をスタートさせました。

(1) 能楽堂シェークスピアシリーズ

①「テンペスト」公演

・新潟公演（4回）

平成21年7月9日～12日

・東京公演（4回）

平成21年7月18日～20日

(2) レジデンシャル・ダンス・カンパニー “Noism09”（9月から Noism1 と改める）

①新国立劇場 共同制作「ZONE～陽炎 稲妻 水の月」（第11作公演）

・新潟公演

平成21年6月5日～7日

・東京公演

平成21年6月17日～21日

②Noism メンバー振付ワークショップ公演 平成21年7月4日・5日

③「Nameless Poison～黒衣の僧」（第12作公演）

・新潟公演

平成21年11月20日～23日

・静岡公演

平成21年12月19日・20日

・愛知公演

平成21年12月23日・24日

・東京公演

平成22年1月22日～27日

・松本公演

平成22年1月31日

・新潟凱旋公演

平成22年3月1日～14日

④「NINA — 物質化する生け贄 (ver.black)

・台湾公演

平成21年10月16日～18日

⑤Noism2 春の定期公演

平成22年3月27日・28日

⑥Noism こどものためのからだワークショップ（新潟市立山の下小学校受託事業）

・山の下小学校

平成21年7月14日

⑦Noism こどものためのからだワークショップ（新潟市立青山小学校受託事業）

・青山小学校

平成22年2月9日

⑧Noism こどものためのからだワークショップ（財団法人新潟県文化振興財団受託事業）

・見附市文化ホール アルカディア中ホール 平成22年3月20日

【質の高い専門性に富んだ舞台芸術を鑑賞する機会の場の提供事業】

音楽事業では、東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、音楽愛好者拡大のための演奏会などを公演しました。

さらに、オルガンの活用事業、オペラ・コンサート、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努めました。

特に21年度は連携する札幌・京都・福岡の公立コンサートホールとの共同企画「オーストリア・ハンガリー・ハイドンフィルハーモニー」を中心とした新事業「りゅーとびあハイドン・ツィクルス」（網掛け）を開催し、新しい視点による企画で聴衆の関心を引き起こし、聴衆の更なる拡大を図りました。

演劇事業では、多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、劇場製作

の作品及び小劇場系の演劇公演や伝統芸能などの様々な舞台芸術を開催し、賑わいのある劇場空間の創造と観客の定着を目指しました。

能楽事業では、伝統様式の本格的な能舞台と劇場を活用し、子どもから一般までを対象とした普及に重点をおいた公演と、能狂言に対する知識や興味を高める能楽講座を開催しました。

(1) 音楽事業

①東京交響楽団提携シリーズ

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第53回	平成21年4月19日	ブラームス：交響曲第4番
第54回	6月14日	マーラー：交響曲第6番「悲劇的」
第55回	9月6日	シベリウス：劇音楽「テンパスト」
第56回	11月8日	シューマン：交響曲第2番
第57回	平成22年2月6日	オルフ：カルミナ・ブラーナ
第58回	3月21日	ピアソラ：バンドネオン協奏曲

・コントホールへようこそ～わくわくキッズコンサート～5回公演

平成21年11月10日・11日

・特割コンサート

平成21年11月11日

・東響定期+α 日本のオーケストラシリーズNo.1 山形交響楽団

平成21年7月5日

②オーストリア・ハンガリー・ハイドン・フィルハーモニー

平成21年12月1日

③ピアノ・リサイタルシリーズ

・シリーズ21 アレクサンダー・コプリ

平成21年9月27日

・アレクサンダー・コプリン スタディー・コンサート

平成21年9月26日

④歌の花束シリーズ

・シリーズ17 にほんのうたのコンサート

平成21年10月25日

⑤カルテットシリーズ

・シリーズ18 クアルテット・エクセルシオ

平成21年9月29日

・シリーズ19 クアルテット・エクセルシオ

平成21年10月20日

・シリーズ20 クアルテット・エクセルシオ

平成21年10月30日

⑥オルガンシリーズ

・山本真希リサイタルシリーズNo.7

平成21年6月6日

・山本真希リサイタルシリーズNo.8

平成21年11月14日

・山本真希リサイタルシリーズNo.9

平成22年3月6日

・クリストフ・マントゥー オルガン・リサイタル

平成21年9月10日

・クリストフ・マントゥー オルガン・マスタークラス

平成21年9月11日

・廣江理枝オルガン・リサイタル

平成21年7月10日

・オルガン・クリスマスコンサート

平成21年12月18日

⑦りゅーとぴあオペラ劇場シリーズ

・りゅーとぴあオペラ劇場オペラ・コンサート2010

「Viva!ローマ」 平成 22 年 3 月 25 日

⑧その他

- ・茂木大輔のオーケストラコンサート No.5 平成 21 年 5 月 31 日
- ・宮川彬良とアンサンブル・ベガ 2 回公演 平成 22 年 1 月 9 日
- ・生で聴く「のだめカンタービレの音楽会」 平成 22 年 2 月 28 日
- ・ブーニン・ピアノリサイタル(共催事業) 平成 21 年 11 月 4 日
- ・中村紘子・ピアノリサイタル(共催事業) 平成 21 年 12 月 9 日
- ・にいがたニューイヤー・ガラコンサート(共催事業) 平成 22 年 1 月 11 日

(2) 演劇事業

- ・ワンアクション・コメディ「キサラギ」 1 回公演
平成 21 年 4 月 28 日
- ・白石加代子「百物語」 1 回公演 平成 21 年 6 月 13 日
- ・「ふるまち新潟をどり」 2 回公演 平成 21 年 6 月 21 日
- ・「炎の人」 2 回公演 平成 21 年 7 月 4 日・5 日
- ・「コンドルズ」 1 回公演 平成 21 年 8 月 22 日
- ・ミュージカル「天翔ける風に〜「贖作・罪と罰」より」 1 回公演
平成 21 年 9 月 6 日
- ・ギンギラ太陽' S「翼をください! さらばYS-11」 1 回公演
平成 21 年 10 月 15 日
- ・「サロメ」 1 回公演 平成 21 年 11 月 18 日
- ・「錦織」 2 回公演 平成 21 年 11 月 28 日・29 日
- ・「海をゆく者」 2 回公演 平成 21 年 12 月 18 日・19 日
- ・劇団棧敷童子「海獣」 1 回公演 平成 21 年 12 月 23 日
- ・「ジョン・ガブリエル・ボルクマンと呼ばれた男」 2 回公演
平成 22 年 2 月 6 日・7 日
- ・阿佐ヶ谷スパイダース「アンチクロックワイズ ワンダーランド」 2 回公演
平成 22 年 3 月 3 日・4 日
- ・二兎社「かたりの椅子」 1 回公演 平成 22 年 3 月 11 日
- ・人形浄瑠璃「文楽」 2 回公演 平成 22 年 3 月 15 日
- ・劇団本谷有希子「来来来来」(共催事業) 1 回公演
平成 21 年 8 月 18 日
- ・「春風亭小朝独演会」(共催事業) 1 回公演 平成 21 年 9 月 16 日
- ・「なにわバタフライ N.V」(共催事業) 1 回公演 平成 22 年 3 月 16 日

(3) 能楽事業

- ・「春の能楽鑑賞会」(観世流) 2 回公演 平成 21 年 4 月 11 日
- ・「秋の能楽鑑賞会」(宝生流) 2 回公演 平成 21 年 10 月 10 日
- ・「茂山狂言公演」 2 回公演 平成 21 年 7 月 17 日・18 日
- ・「野村万作・萬斎狂言公演」 3 回公演 平成 21 年 8 月 5 日・6 日
- ・「りゅーとびあ劇場狂言」 2 回公演 平成 21 年 12 月 26 日・27 日

(4) 普及系事業

①オルガン普及プログラム

- ・りゅーとびあオルガン講座
 - 入門講座
 - 市民オルガン講座
 - 基礎講座
 - ジュニアコース
 - 一般コース
 - 応用講座
 - 応用コース
 - 特別講座
 - 中間発表会
 - 修了演奏会
 - ・オルガン・サマーテイズ
 - ・ニューイヤー・オルガンスペシャル
 - ・オルガン音楽隊
 - ・思いっきりオルガン演奏体験
- ポジティブオルガン使用の半年コース
ポジティブオルガン使用の半年コース
ポジティブオルガン使用の1年コース
大オルガン使用の1年コース
- 平成22年3月30日
平成21年10月17日
平成22年3月13日
平成21年8月29日・30日
平成22年1月16日・17日
平成21年11月28日新潟市美術館
平成21年12月11日臨港病院
平成22年3月31日

②1 コインコンサート

- ・Vol.39「オルガン」
 - ・Vol.40「ヴァイオリン」
 - ・Vol.41「声楽」
 - ・Vol.42「タンゴ・トリオ」
 - ・Vol.43「邦楽」
 - ・Vol.44「オーボエ」
- 平成21年4月10日
平成21年5月15日
平成21年6月2日
平成21年9月16日
平成21年10月8日
平成21年12月8日

③プライム・クラシック1500

- ・Vol.5「ヴァイオリン&ピアノ」
 - ・Vol.6「オーボエ&ピアノ」
- 平成21年5月15日
平成21年12月8日

④市民音楽講座（おんぶんりレーコンサート）

平成21年11月21日・22日・27日音文

⑤「能楽基礎講座特別版（馬場講師）の愉しみ」3回

平成21年4月21日・7月14日・10月21日

⑥“能楽基礎講座特別版（馬場講師）スペシャル公演「黒塚」1回

平成22年3月14日

⑦能楽基礎講座（山崎講師）1回

平成21年6月6日

⑧観世流能楽鑑賞教室「はじめてのお能」（共催事業）1回公演

平成21年8月29日

⑨観世流能楽鑑賞教室「舞の習い」（共催事業）

平成21年5月29日・6月14日・6月20日・6月26日・7月3日・
7月19日・7月24日・8月2日・8月21日・8月28日

⑩「さわってみよう能の世界」（共催事業）1回公演

平成22年3月29日

⑪「秋の能楽鑑賞会」プレ講座

平成21年9月26日

【文化を支える人材育成事業】

人材育成事業では、音楽系の 3 教室とともに演劇スタジオキッズコースを引き続き運営しました。

(1) 音楽系育成事業

- ①にいがた東響コーラス 平成 21 年 7 月～平成 22 年 2 月
- ②ジュニアオーケストラ教室育成事業
 - ・第 28 回定期演奏会 平成 21 年 9 月 20 日
 - ・クリスマス演奏会 平成 21 年 12 月 23 日音文
 - ・水と土の芸術祭開催記念アウトリーチ・ミニコンサート 2 回公演
平成 21 年 8 月 29 日新津美術館
- ③ジュニア合唱団育成事業
 - ・第 19 回定期演奏会 平成 21 年 7 月 19 日
 - ・新潟県少年少女合唱団合同演奏会 平成 21 年 8 月 22 日長岡
 - ・水と土の芸術祭開催記念アウトリーチ・ミニコンサート
平成 21 年 8 月 29 日新潟市博物館
- ④ジュニア邦楽教室育成事業
 - ・第 14 回定期演奏会 平成 21 年 7 月 26 日音文
 - ・水と土の芸術祭開催記念アウトリーチ・ミニコンサート
平成 21 年 8 月 23 日新潟市美術館
- ⑤ジュニア音楽教室第 6 回スプリングコンサート 平成 22 年 3 月 28 日

(2) 演劇系育成事業

- ①演劇スタジオキッズコース APRICOT
 - ・夏季公演「赤毛のアン」 平成 21 年 8 月 15 日・16 日
 - ・春季公演「ドッペル」 平成 22 年 3 月 24 日・25 日
 - ・APRICOT 演劇体験ワークショップ
平成 21 年 4 月 12 日・9 月 5 日

【自主企画事業を支援するための事業】

(1) 広報営業事業

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ならびに、企業協賛の募集など広報・営業活動を効果的に行い、集客を図りました。また、新鮮な会館情報を積極的に発信し、会館の知名度とイメージアップを図りました。

(2) 専門家の活用事業

音楽、演劇、舞踊等の各分野において、その専門家から指導・助言してもらい、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施しました。また、専属オルガニストを継続して設置しました。

(3) 調査研究事業

次年度以降の事業の企画立案のため、先進ホールや公演などについて調査しました。

(4) 事業管理事業

チケット専用センター運営事業、託児サービス運営事業、友の会運営事業などを引き続き実施しました。

2 施設の管理運営業務実績

【運営に関する基本的な考え方】

○市民芸術文化会館、音楽文化会館共通

施設の維持管理については次の2点を基本的な考え方としながら、会館の機能を最大限に維持すること、衛生的で品位のある施設を維持することに努めました。

1 限られた予算の中で設備故障リスクを最小限に抑えるために、メンテナンス方法を予防保全と事後保全に分け、効率的な維持管理を行う。

※ 予防保全 故障が発生しないように行うメンテナンス方法（日常点検・定期点検。部品の寿命を考慮した部品交換）

※ 事後保全 設備が故障してから修理を行う方法

2 建物の衛生的環境を維持するため、法令に従い必要な測定・調査・清掃を行い安心・安全な施設を維持する。また、建物の清掃を行うほかに損傷した壁や備品箇所を補修することで、美観の維持に努める。

なお、管理業務については、更なる効率化を図りました。

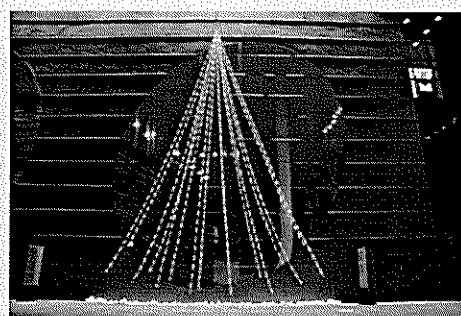
- ・委託業務の更なる仕様見直しを図った。
- ・市民芸術文化会館と音楽文化会館との管理の一元化を継続して行った。
- ・設備運転管理業務と警備業務の統合管理を継続して行なった。

（市民芸術文化会館：H21～23の複数年契約）

○市民芸術文化会館

ホールの運営については、催し物の利用者だけでなく来館者の方々から快適に過ごしていただけるよう、ショップで扱うグッズの充実、飲食レストランで食育の日特別メニューを提供するなど、一層のサービス向上に努めました。

11月～12月には2階共通フロアに職員が手作りでクリスマスの飾りつけを設けました。



、 クリスマスの飾りつけ（職員の手作り）

また、昨年に引き続き市民の方々に施設に触れる機会を提供・PRするため、バックステージツアーを企画し、市民に愛される施設となるよう努めました。

年度	回数	参加者数
H21	3企画6回	321人
H20	3企画6回	317人

○音楽文化会館

昨年に引き続き、ステージの雰囲気味わってもらふ体験イベントの「気軽に音ステージ」と「リレーコンサート」を企画し、多くの市民の参加を得ました。

年度	気軽に音ステージ		リレーコンサート	
	出演者数	楽器体験者数	出演者数	観客数
H21	83人	341人	312人	549人
H20	82人	191人	278人	510人

その他、12月には、2階玄関に職員が手作りでクリスマスの飾りつけを設えました。

★新型インフルエンザ関連

- ・平成21年3月、メキシコで発生した「新型インフルエンザ」が日本国内で発生が確認されたのち、市内の公共施設においても危機管理防災課及び文化政策課指示のもと館内に「消毒剤」を設置するなどの対策を行いました。
- ・施設利用に関しては、季節型インフルエンザ同様に感染力が強い「新型インフルエンザ」は市内の学校（小中高）において急速に感染が拡大し、学校及び学級閉鎖等の対応を取らざるを得ない状況となりました。この影響で、予定していた学校事業の延期や中止をした学校が相次ぎ、芸文利用分ではコンサートホール利用を予定していた学校関係の催し物の利用中止が2件あり、日時を変更して行われたのが2件ありました。※他施設で行う予定だった催し物を当会館で行ったものが別に1件あり。

音文では、日時を変更したものが2件ありました。

【業務内容】

(1) 貸館事業

○市民芸術文化会館

〔計画の目標値との比較〕

	稼働率			入場者数	
	目標値	実績	差	目標値	実績
コンサートホール	82.0%	83.3%	1.3%	33.4万人	337,011人
劇場	78.0%	81.7%	3.7%		
能楽堂	53.0%	55.7%	2.7%		

〔分析（理由）〕

①コンサートホール

- ・新型インフルエンザ影響で公演の中止等があったが、吹奏楽・ポピュラー音楽の利用が増加しており、目標値を上回った。

★中止になった公演

- ・新潟中央高等学校管弦楽部定期演奏会
- ・第49回新潟市中学生による「水辺の音楽会」(芸能まつり)

②劇場

- ・自主事業による利用件数の増加とともに、ミュージカル・ポピュラー音楽・その他舞踊のジャンルでの利用が増加した。※新規のミュージカル利用として、教育委員会主催「“こころの劇場” 劇団四季ミュージカル『人間になりたがった猫』」が5日間9公演行われた。

③能楽堂

- ・能楽堂シェークスピアの公演が前年より回数が増えたことや貸館利用が好調なことから利用件数全体で前年比1.5倍に増加した。

④入場者数

- ・会館主要3施設(コンサートホール・劇場・能楽堂)において、前年比105.7%増(入場者数では約13,000人の増)であった。特に貸館が好調であり、貸館における入場者は前年比1.17倍(人数で約20,000人)増加した。目標値に対しては、3,000人の増であった。

⑤歳入

- ・目標値に比べ10,481千円の増。(目標値67,606千円)

〔平成20年度実績との比較〕

	稼働率			入場者数	
	H20	H21	差	H20	H21
コンサートホール	84.6%	83.3%	-1.3%	325,339人	337,011人
劇場	77.6%	81.7%	4.1%		
能楽堂	39.8%	55.7%	15.9%		

〔分析(理由)〕

①稼働率

- ・H20年度との比較では、劇場、特に能楽堂が大幅に上昇し、コンサートホールは若干昨年度より下回った。

②入場者数

- ・H20年度に比べ、3ホールとも稼働日数が増えており、入場者数は約11,000人増加した。

○音楽文化会館

〔計画の目標値との比較〕

	稼働率			入場者数	
	目標値	実績	差	目標値	実績
ホール	74.0%	72.5%	-1.5%	18.1万人	180,196人

〔分析(理由)〕

①稼働率

・稼働率は減少し、目標値までに至らなかった。

②入場者数

・入場者数は、減少傾向にあるが、目標値を達成した。

③歳入

目標値に比べ41千円の増。(目標値35,458千円)

〔平成20年度実績との比較〕

	稼働率			入場者数	
	H20	H21	差	H20	H21
ホール	75.3%	72.5%	-2.8%	182,371人	180,196人

〔分析(理由)〕

①稼働率

・H20年度の稼働率は増加したが、H21年度は減少しH19年度と同程度となった。

②入場者数

・利用件数は昨年と同程度であったが、入場者数は減少した。

※両館とも平成20年8月から新潟市の公共施設予約システムを導入したことにより、施設の空満情報をインターネット上でみることができ、市民の皆様
の施設利用申し込みについて便利さが増した。

(2) 貸館利用受付時間

公平性を遵守しながらも、市民サービスを基本に考えて柔軟な対応を図りました。

○市民芸術文化会館

土日を含む毎日 9:30 ~ 18:00 (休館日を除く)

○音楽文化会館

土日を含む毎日 9:00 ~ 17:00 (休館日を除く)

(3) 登録レセプションистの配置

○市民芸術文化会館

・登録レセプションистの配置については、公演の円滑な進行に配慮しながらも効率的な運用に努めました。また、外部講師による研修や職場内研修を実施し、スキルアップを図りました。なお、主催者・鑑賞者双方から熟練した接客の姿勢について高い評価を得ております。

・ゆとりのある稼働体制の整備のため、第7期登録レセプションист採用試験を実施しました。(受験者数44名、合格者20名)

★業 務：客席案内・クローク業務・ピュッフェ業務・チケット確認等

★研 修：外部講師による基礎・専門研修の実施、危機管理研修・訓練の実施

★稼働数：

	レセ登録数 (翌年度 4.1 現在)	稼働数	延べ稼働人数
H21 年度	47 人	314 公演	5, 219 人
H20 年度	43 人	303 公演	4, 934 人

(4) 舞台技術スタッフによるサービス

○市民芸術文化会館

公演時に求められる高度な演出を実現するため、会館の舞台技術スタッフが仕込み段階から協力しています。設備の操作については、危険度の高い舞台機構は当館の技術スタッフが全て行い、音響・照明設備は主催者側スタッフ（市民、外部専門スタッフ）に技術指導（一部補助操作）を行うなどサービス向上に努めました。

なお、安全第一の舞台運用と演出ノウハウの支援・指導については、主催者及び関係スタッフから大きな信頼・好評を得ております。

・スキルアップ

新潟発創造事業、育成事業に積極的に参加し、搜索活動の経験と遠征経験が、舞台技術の大きな蓄積となっています。

○音楽文化会館

昨年に引き続き、ホール等に会館の舞台技術スタッフを配置し、準備作業や本番の操作をアドバイスしながら、市民の舞台作りをお手伝いしました。

(5) 飲食サービスの提供

○市民芸術文化会館

3階レストラン「リバージュ」はイタリア料理を中心とした豊富なメニューを取り揃えて、来館した多くのお客様に飲食サービスを行いました。市の事業「食育の日」には地元の食材を盛り込んだメニューを用意したり、自主事業「赤毛のアン」の開催時には、期間限定でカナダ料理を提供したりとサービスの向上に努めました。その結果、恒例のクリスマスシーズン特別メニューも含め、工夫を凝らしたサービスで利用者から好評を得ました。

2階「セーリングカフェ」は公演前のお客様に向けた軽い食事や喫茶メニューのサービスを行いました。

6階展望ラウンジでは、21年1月から「旬彩 柳葉亭」がそれまでの「柳都亭 咲」の後を引き継ぎ営業を行っておりますが、旬の食材を使用したお料理や飽きのこないメニューの提供を心掛け、年齢にかかわらず幅広い客層から気軽に利用できるご支持をいただいております。

また、コンサートホール・劇場及び能楽堂のビュッフェを年間 261 公演で営業（直営）し、開演前や休憩時のドリンク・サンドイッチなどのサービス提供に努めました。

○音楽文化会館

2階の喫茶レストラン「リード」は、ランチや喫茶メニューの提供を行って

ましたが、9月末で撤退することとなりました。このため、新潟市と協議をしながら次の経営者を公募で選定し、平成22年4月1日オープンに向けての準備作業をしました。H22年度からは、喫茶レストラン「Kitchen & Café コル」が営業を開始し、利用者へのサービスに努めます。

また館内では、各階に飲料用自動販売機を設置しており、引き続き来館者へのサービスを図りました。

(6) インフォメーションセンター、ショップの設置

○ 市民芸術文化会館

インフォメーションセンターでは、白山公園一帯の情報提供、館内の様々な問い合わせ対応、自主事業チケットや貸館公演チケットの販売、ショップ運営（主に受託販売）等サービス提供に努めました。

貸館公演チケットの販売につきましては、H20年度の年間99件を7件上回る106件の依頼を受け、受託枚数9,212枚に対して6,313枚の販売を行いました。

ショップでは、音楽や演劇などに関連した魅力あるグッズの提供に努め、会館のイメージアップに寄与しています。

○ 音楽文化会館

事務室で貸館公演チケットの販売を行い、年間31件の依頼受けました。

3 館全体の目標値

【館全体の目標値及び実績】

※ 上段は当初の目標値, 下段は実績値

施設名		平成21年度			
		稼働率	稼働日数	入場者数	歳入
市民芸術文化会館	コンサートホール	82.0%	250日	33.4万人	67,606千円
		83.3%	254日		
	劇場	78.0%	226日	33.7万人	78,087千円
		81.7%	237日		
	能楽堂	53.0%	172日	33.7万人	78,087千円
		55.7%	181日		
音文	ホール	74.0%	210日	18.1万人	35,458千円
		72.5%	206日	18.0万人	35,499千円

(参考) 平成20年度実績

施設名		平成20年度			
		稼働率	稼働日数	入場者数	歳入
市民芸術文化会館	コンサートホール	84.6%	248日	32.5万人	70,946千円
	劇場	77.6%	228日		
	能楽堂	39.8%	129日		
音文	ホール	75.3%	216日	18.2万人	36,241千円

4 自己評価

別紙のとおり

「指定管理者評価結果シート」(芸文・音文)

5 再委託実績

別紙のとおり

「H21年度 委託契約計画・実績（施設管理）」

「H21年度 委託契約計画・実績（舞台技術）」